

新庄北社会福祉協議会の状況

令和5年7月現在

設立年月

平成22年4月16日

会 長	清水 清三		副会長	山口昭男、辻井義雄、種五順一 斉藤潔雄、鷲塚博史	
事務局 所在地	地区センター内 ・ 公民館内 ・ <u>その他（会長、事務局長宅等）</u> ○をお願いします				
事務局 TEL		事務局 FAX		事務担当	杉森 哲夫
人 口	12,654 人	世帯数	12,654 世帯	高齢化率	26.1 %
主な活動等	1 各町内に福祉役員を設置し、福祉のネットワークづくりで福祉のまちづくり 令和3年4月から各町内に福祉担当役員を設置することができ、福祉推進員 は21町内の内17町内設置することができました。 福祉推進員設置の14町内のうち6町内でケアネット活動を実施しています。 2 小地域に密着した「ふれあいいきいきサロン・サークル」の推進 小集団活動で元気を創出し「健康寿命の延伸」につなげるために、現在18 サロンが活動し当協議会で遊具等を購入して貸出をしています。 3 各種団体の結束で共生社会の推進 障がいのある子供も地域の一員として参加できる①芝桜を見る会、②123m花 畑を見る会、③さつま芋堀に誘って交流し地域共生の輪を広めています。 4 異世代交流活動の推進 次世代を担う児童と各種団体の役員が交流を深めるために、異世代交流野外 塾(前年度は呉羽青少年の家で「うどんづくり」を体験)を開催しています。 5 子供育成活動の推進 学校との連携を図り、各種団体と児童(生徒)の交流で体験学習や知識の向上 を目指し、花壇づくり(123m花畑)、さつま芋作り、囲碁将棋クラブ活動の支 援及び囲碁将棋教室、異世代交流囲碁将棋大会などの開催をしています。 6 広報誌の作成(年3回:A4で2ページ) 新庄北社会福祉協議会で活動したものを掲載し、地区に全戸配付しています。				
					
	共生社会の交流会(芝桜を見る会とさつま芋掘り)		異世代交流野外塾		
会長の メッセー ジ	新庄北社会福祉協議会では、平成26年からケアネット活動を開始し、現在 21町内のうち8町内が活動していますが、この活動を新庄北校区全体に広めたい と考えています。				